

東京 ■ 医療・司法の両翼を担う専門家たち

弁護士法人フェアネス法律事務所（法学博士）代表弁護士
医療の改善に挑む現役の麻酔科救急科専門医 弁護士
バイオを支える薬学修士（薬剤師・弁理士） 弁護士

遠藤 直哉氏
小嶋 高志氏
中村 智広氏

医療の質・安全の向上に貢献するプロ集団

フェアネス法律事務所は、弁護士二〇名の組織力で、医療分野の相談や訴訟に取り組んでいる。創設者の遠藤直哉弁護士は不動産、建築、ITと幅広く活動してきたが、現在では、医療過誤・生殖医療、病院M&Aの専門家として名を馳せている。異色の医師・薬学修士の能力を活用しつつ、医療関係者と患者の双方のために奮闘しているという。

『医療と法の新理論』

遠藤弁護士は、最近（社）医療の質・安全学会での報告をまとめた最新の理論を発表した。（公）医療機能評価機構の医療事故センターの委員の実績も含めて、医療事故調査制度から医療過誤訴訟までの改革案を提言した。元原発国会事故調査委員長の黒川清先生を尊敬し、先生が

会長をされる（公）日米医学医療交流財団の理事としてホスピタリスト普及活動に尽力する。同弁護士は、代理出産で有名な諏訪の根津八紘医師と着床前診断で著名な神戸の日本産科婦人科学会と戦うために日本産科婦人科学会と戦うの支えてきた。患者の医療に尽くす医師の姿に感銘し、同じく良心的なホワイト弁護士を目指してきた。



遠藤 直哉（えんどう なおや）

麻布高校卒業、東京大学法学部卒業、法学博士（中央大学）
ワシントン大学ロースクール 大学院修士
元桐蔭横浜大学法科大学院教授
第二東京弁護士会 平成8年度副会長
（公）日本医療機能評価機構運営委員
（公）日米医学医療交流財団理事

著書

- 【法動態学講座 全4巻】（信山社）
- 1『新しい法科大学院改革案』2『新弁護士懲戒論』
- 3『新弁護士業務論』4『医療と法の新理論』
- 【ソフトローシリーズ】
- ①『ソフトローによる社会改革』②『ソフトローによる医療改革』（幻冬舎MC）③『ソフトロー・デモクラシーによる法改革』（アートデイス）
- 【博士論文】『取締役分割責任論』（信山社）



小嶋 高志弁護士

名古屋大学医学部卒業、東京大学法科大学院卒業

顧問先の神の手のスリー脳外科ドクター福島孝徳医師の言葉「私より腕の良い、自分を超えるほどの名手を育てたいのです」と同じ気持ちで、若手を指導しているという。また、ガイドラインや通達などのソフトローの研究も進め、その成果を実務に生かし依頼者からの絶大な信頼を得ている。

麻酔科医を医療安全の専門家
小嶋弁護士は、名古屋大学医学部を卒業後、十年以上、名古屋第二赤十字病院の救急現場で麻酔科指導医として活躍してき



中村 智広弁護士

京都大学大学院薬学研究科修了、神戸大学法科大学院卒業

た。幅広い診療科の麻酔を行い、心臓血管麻酔の専門医でもあるという。大量出血などの危機的状況に幾度となく遭遇し、冷静かつ適切に状況打開を指揮した。まさに、医療の質を高め、患者の安全を守るプロである。今後は麻酔科医も続けながら、弁護士として総合的な安全管理に尽力していくという。

最新医療とバイオの発展と共に
中村弁護士は、京都大学大学院薬理学教室で、バイオ研究に邁進した。弁理士としても再生医療・免疫治療・遺伝子治療など幅広く扱い、特許やノウハウ

弁護士法人フェアネス法律事務所
https://fair-law.jp
電話受付時間 平日9:00~18:00
03-3500-5330
住所 ▶ 東京都千代田区霞が関1-4-1
日土ビル10階
（文化庁の真向い）
アクセス ▶ 地下鉄銀座線「虎ノ門駅」下車
（7番出口より徒歩1分）
丸ノ内線・日比谷線・千代田線
「霞が関駅」下車（A12出口より徒歩5分）
フェアネス法律事務所 検索



川村 覚弁護士・村谷 晃司弁護士・渡邊 潤也弁護士

を確保しつつ、広く国民に貢献する産業の発展を支援している。また、国立研究開発法人・日本医療研究開発機構（AMED）の調査役として、末松誠理事長を支えている。今後は、進展する技術の中での生命倫理の在り方をも視野に入れながら、総合的な意見を提言する予定である。